

令和 7 年度

## 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.23
担当課名	にぎわい創出課
グループ名	地域振興グループ
記入者名	

## 1 事業概要

(1)事業名	小川和紙産業支援事業費				(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ					(5)予算・財源等の別			
①基本目標	活力ある産業のまち(産業の振興)				①会計区分	一般会計		
②大項目	工 業				②財源区分	町単独		
③中項目	伝統産業の振興				③予算科目	款	7	項 1 目 2
④施策					④予算事業名	小川和紙産業支援事業費		
⑤施策コード	6.3.3.0	掲載ページ	103	ページ				
(6)実施根拠					(7)総合戦略			
①事務分類(自治・法定受託) 自治事務					①総合戦略			
②根拠法令・条例等					(該当事業名) 小川和紙産業支援事業費			
③事業期間	開始	平成28	年	6	月	から	終了	未定
							年	月
								まで

## 2 事業の目的・内容等

(1) 目的(何のために行うか)				(2) 内容(どのような取り組みか)			
生業としての和紙産業を安定させ、地元の雇用を創出し、併せて地域活性化を進めるため。				・後継者育成事業(H28.10～)を1期3か年で実施する。令和5年度からの3か年は東秩父村と合同で実施する。 ・楮畑の管理と楮の原料処理を行う。 ・作業場である和紙体験学習センターを維持管理する。			
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(4) 成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
後継者育成研修生(3人)、楮生産従業員(5人)、和紙職人(23人)。サービス量は小川町和紙体験学習センターで直接業務を行っている研修生・楮生産従業員で算出。				・和紙職人を増加させ、和紙産業を発展させる。 ・地楮の安定供給を実現させ、地楮をブランディングして地域活性化を進める。 ・和紙体験学習センターを拠点化する。			
対象数		和紙職人等		単位		人	
(5) 事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)							
後継者研修を受けてみたいという問合せや、楮を購入したいという要望などが多く聞かれる。技術者も高齢化しており、引き続き後継者育成の必要がある。また、楮の産地である栃木県や高知県などにおいても、近年、業者の高齢化の影響もあり減産していることから、国産楮の入荷の減少が想定され、地元産楮の生産の必要性が高まっている。							
(6)SDGsへの貢献							

## 3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容)						
項 目	名称	小川和紙産業支援事業費				
	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳	報酬	0	0	0	0	4,324
	報償費	576	576	914	896	1,230
	需用費	19	13	30	0	55
	役務費	213	220	135	25	44
	委託料	2,700	2,500	2,500	0	0
	その他	195	188	196	1,290	1,184
	直接事業費合計	3,703	3,497	3,775	2,211	6,837
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特定財源	0	0	623	623	1,050
	一般財源	3,703	3,497	3,152	1,588	5,787
	合 計	3,703	3,497	3,775	2,211	6,837
(4)補助金名						
(5)人件費	投入職員数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	年間人件費	3,814	3,771	3,761	3,886	4,016
(6)総事業費		7,517	7,268	7,536	6,097	10,853
	サービス量(人)	12	11	9	10	8
	サービス単価	626.4	660.7	837.3	609.7	1356.6
(単位)	千円/後継者、楮生産者、和紙職人1人当たり					

4 指標の検証				小川和紙産業支援事業費		
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	後継者研修回数	目標値	回	48	48	48
		実績値	回	48	48	
		達成率	%	100.0	100.0	
	地楮収獲量(黒皮楮)	目標値	kg	300	330	330
		実績値	kg	434	527	
		達成率	%	144.7	159.7	
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	工業事業所数(総振目標指数P103) R7年度目標値 90件	目標値	件	90	90	90
		実績値	件	85	85	
		達成率	%	94.4	94.4	
	手漉き和紙職人人数	目標値	人	26	26	26
		実績値	人	25	23	
		達成率	%	96.2	88.5	
(3)その他指標に現れない成果						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	2	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他( )	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	2	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他( )	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他( )	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他( )	
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他( )	
有効性	成果の向上	1	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他(廃業・離職により職人数が減少)	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他( )	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
後継者育成事業では3人の研修生を新規に受入れ、技術者の育成を図っている。今後は、修了者が生業につなげられるような対策が必要となる。また、楮生産従事者も年々栽培技術を向上させ、原料にするための楮の加工(カズヒキ)の効率も上がってきている。職人が使う楮の安定供給はもとより、細川紙の継承の視点からも継続的に実施し、生産量を増やしていく必要がある。						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)						
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)	2 現状維持	和紙産業の振興に向けて、後継者の育成等に継続して取り組む。				